

延岡中学校 学校だより 4月号

学校だよりは生徒・保護者・地域社会の皆様へ学校の様子をお知らせするために作成しています。

令和3年度の始まりに寄せて

4月1日に3名の先生方をお迎えし、また、4月12日には97名の新1年生の皆さんが入学し、全校生徒296名で令和3年度の延岡中学校がスタートしました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大のために、臨時休業や学校行事の縮小・変更など様々な対応を余儀なくされました。このウイルスは、グローバル化した現代社会を直撃し、これまでの社会常識をひっくり返してしまいましたが、延岡中学校では、マスク着用、三密回避、手指消毒等に地道に取り組み、新しい生活様式を実践してきました。

現在、延岡市は（文科省が示す新型コロナウイルス感染症に関する衛生マニュアルの行動基準で）「レベル1」から「レベル2」への対応となり、感染対策にしっかり取り組みながら慎重に教育活動を実施することになりました。変異型を中心とした第4波の感染拡大も大変心配されますが、延岡中学校では生徒の皆さんの健康と安全を第一に考えながら、今後も学校生活を充実させていきたいと考えております。保護者の皆様には、御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、本校は「ひかり（光り輝く生徒であれ）、のぞみ（望み大きな生徒であれ）、ほこり（誇り高き生徒であれ）」の校訓のもと、「時代を生き抜く生徒の育成」の教育目標を掲げ、これまで様々な取組を進めてきました。その結果、学校生活は大変落ち着いたものとなり、学習や部活動、生徒会活動等とても充実しています。ここ2年間の高校入試等の進学面においても、毎年3年生が目標を達成しています。

そうした成果を踏まえ、本年度も同じ方針の下、学習指導や生徒指導の充実を図り、次のステージ（高校等）への基盤づくりを進めることとしました。保護者、地域社会の皆様には、こうした本校の目標や経営方針を御理解いただき、今年度も変わらぬ御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お互いの個性を認め、相手を尊重する力を身に付けよう

4月26日（月）に人権学習を実施（予定）します

本校では、生徒の豊かな心を育てる教育の一環として、人権学習に力を入れています。今年度は4月26日（月）に、宮崎公立大学非常勤講師の蔵坪恵常（くらつぼやすつね）先生に講師をお願いして、「いじめに関する講話」を計画しています。

蔵坪先生には2年前にも、いじめや人権（人権＝基本的人権とも言い、人が生まれながらに持っている奪うことのできない生きる権利のこと）について、講話をしてくださいました。その時の生徒の感想文には、過去の辛い経験やいじめ撲滅に対する強い決意がたくさん記され、講話を契機に生徒会の重点目標に「いじめのない学校」も掲げられました。

私たちは、学校でたくさんの人々と関わり合いながら生活をしています。その中で自分でも気づかぬうちに、友だちや周りの人を傷つけていることはありませんか。また、自分が傷つけられていると思う時はありませんか。蔵坪先生は、人は自分でも気づかぬうちに「差別する心」が作られるが、その事を深く振り返ることで、「差別する心」から解き放たれると言われていました。

皆さんは将来、社会の中でさらに多くの人と繋がって生きていくこととなります。その時に、相手に対する予断（決めつけること）や偏見（偏ったものの見方をすること）を捨てて、相手を尊重しよりよい人間関係を築く態度を身に付けておくことは、とても大切なことだと考えています。今回の人権講話を契機に、いじめだけでなく社会の中の一員として、どんな態度で生きていくことが大切なのかも学んで欲しいと思います。